

タイトル：2022年度 教育セミナー（第18回）

日時：2022年9月15日～18日

ハイブリッド開催

両角菜々美（中央大学大学院文学研究科東洋史学専攻博士前期課程一年）

この度は、四日間にわたって多くの先生方や研究者方の皆様が参加されている大変貴重な学びの場である教育セミナーに参加させていただき、誠にありがとうございました。今もなお、新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着かない中、対面方式を望む声を受けて、ハイブリッド開催という柔軟な対応を準備してくださった運営事務局の皆様にもお礼申し上げます。

他大学の大学院生や研究者方が一堂に会するセミナーに参加するのは初めてで、非常に緊張していました。ですが、普段扱っている研究テーマとは異なる登壇者の皆様の発表は大変興味深く、自分と同じ大学院生の皆様が多くの人を前に堂々と発表している姿に大きな衝撃を受けました。その発表に対しての質問も着眼点も鋭く、質疑応答も内容が富んでいて、発表・質問の作法や着眼点を学びました。その学んだことから、自分の研究テーマ外の知識・着眼点の不十分さを痛感しました。これらのことは自分の知識だけを頼りに研究を進めているだけでは気付くことが出来ませんでした。教育セミナーに参加し、多くの人の知識や着眼点に触れたことで、自分が補うべきことを発見し、学ぶことが多い会となりました。

また、今回の教育セミナーに参加したことで自身の研究テーマに対する捉え方を再考するきっかけとなりました。今までは「イスラーム」と研究対象の地域に限定して研究を進めていましたが、登壇者の方々の発表や先生方の講義を通して、歴史学・政治学・宗教学・ジェンダーなどの学術分野や中東・中央アジア・東南アジア・ヨーロッパなどの地域などの境界を越えた知識と着眼点によるオリジナリティに富んだ研究事例を聞きました。自身の研究も充実したものにするために、教育セミナーで得た知見をもとに研究を進めていきたいと思えます。

今回は発表者ではありませんでしたが、セミナーの参加者の方々と、それぞれの研究テーマに対して意見を交換し合ったことで、自分の研究をより良いものにしようという意欲が高まりました。昨今の新型コロナウイルスの流行によって、外部の方との交流を持ちにくいなかで、自身の研究姿勢を見直す良い機会となりました。

結びになりますが、新型コロナウイルスが流行するなかで、このような機会を設けてくださった関係者の皆様、ならびに内容に富んだ素晴らしい発表を聞かせてくださった登壇者の皆様、全ての参加者の皆様に厚く御礼申し上げます。